

『計量国語学』アーカイブ

|        |                                         |
|--------|-----------------------------------------|
| ID     | KK290606                                |
| 種別     | 追悼                                      |
| タイトル   | 水谷静夫著作目録抄                               |
| Title  | Abridged Bibliography of Sizuo MIZUTANI |
| 著者     | 水谷 静夫                                   |
| Author | MIZUTANI Sizuo                          |
| 掲載号    | 29巻6号                                   |
| 発行日    | 2014年9月20日                              |
| 開始ページ  | 177                                     |
| 終了ページ  | 186                                     |
| 著作権者   | 水谷静夫氏の著作権継承者（公開了承済）                     |

## 水谷静夫著作目録抄

水谷 静夫

### 凡例

この目録は学術・教育に関するものを抄出したが、書評・展望記事・事典項目・口頭発表・講演・放送・座談会、また「H O H」署名や全くの無署名のものは除いた。編著書、論文・技術報告、解説・学問随筆に分けて掲げる。{ } 内は共著者（敬称略）その他の注記。書誌事項に略語を若干使った：「国研」は国立国語研究所，「計国」は計量国語学，「東女」は東京女子大学，「日文」は日本文学科，「数セ」は数学セミナー。

私家版の随筆集・歌画集や未公刊論文なども，末尾に附載した。

### 編著書

- |      |    |                                                                                                       |
|------|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1952 | 共編 | 送り仮名法資料集（国研資料集 3）. 国研 / 秀英出版, A5 219p.+i 大野（水野）弥穂子と }                                                 |
| 〃    | 単著 | 国語教育のための言語の実態調査法. 東洋館出版社, B6 77p.+ix                                                                  |
| 1953 | 共著 | 現代語の語彙調査婦人雑誌の用語（国研報告 4）. 国研 / 秀英出版, B5 330p.+iv { 林大・永野賢・大野弥穂子・斎賀秀夫と ; 日本最初の本格的な標本抽出語彙調査, 設計者は水谷 }    |
| 1954 | 単著 | テストの採点. 光風出版, B6 70p.+v                                                                               |
| 1955 | 共著 | 国語の学力調査. 大日本図書株式会社, A5 203p.+iii { 日教組全国学力調査委員会報告書 ; これも本格的標本抽出による全国調査, 水谷設計 }                        |
| 〃    | 単著 | 待遇表現の基礎. 私家版, B5 41p.                                                                                 |
| 1957 | 共著 | 現代語の語彙調査総合雑誌の用語前編（国研報告 12）. 国研 / 秀英出版 B5 182p.+i { 林大・永野賢・斎賀秀夫・石綿敏雄と }                                |
| 1958 | 〃  | 現代語の語彙調査総合雑誌の用語後編（国研報告 13）. 国研 / 秀英出版 B5 115p.+i { 林大・永野賢・斎賀秀夫・石綿敏雄と }                                |
| 1961 | 単著 | 国語および国語研究の代数学. 私家版, A4 140p.                                                                          |
| 1962 | 共著 | 現代雑誌九十種の用字用語第一分冊（国研報告 25）. 国研 / 秀英出版, B5 321p.+vi { 宮島達夫と }                                           |
| 1963 | 〃  | 現代雑誌九十種の用字用語第三分冊（国研報告 25）. 国研 / 秀英出版, B5 337p.+vi { 見坊豪紀・石綿敏雄・宮島達夫 ; 使用率上位の約一千語に推定精度が添へてあり, これは世界最初 } |
| 1970 | 単著 | 言語と数学. 森北出版, A5 158p.+ix                                                                              |
| 1971 | 共編 | 岩波国語辞典第二版. 岩波書店, { 西尾実・岩淵悦太郎と } 生存編者水谷のみの第四版（'86）では 1211p.+LXXIII, 第五版（'94）では本体                       |

- 1,268p. 第六版 (2000) の縦組本体 1311p.+XCII, 横組本体 1384p.  
第七版 ('09) 本体 1622+C, 同新版 (2011) . この第 2 刷 (2013) を  
もって実質編者を退く.
- 1973 単著 SNOBOL と言語処理第 0.1 版. 私家版, B5 第 2 版 ('76) では 59p.+iv  
{ '74 に第 1 版あり }
- 〃 共著 記号論理式による法令文事柄検索の一方法. 東京芝浦電気株式会社,  
B5 221p.+ix { 斉藤孝・花岡百合子・佐々木袈裟雄と }
- 1974 単著 国語学五つの発見再発見. 東女学会 / 創文社, A5 144p.+xvi
- 1978 共著 日本語基本文法単文篇 (電子技術総合研究所研究報告 783), B5  
140p.+vi { 西村恕彦・尾上啓介・田中幸子と }
- 同複文篇 (同 784), 138p.+vii { 西村恕彦・尾上啓介・大野美江子と }
- 〃 編纂 昭和初期流行歌抄. 教材用私家版, B5 本文篇 60p., 索引篇 40p.
- 1981 〃 文科学学生による言語データ処理—言語研究の道具としての計算機—. 東  
女日文, B5 79p.+viii
- 〃 単著 Basic によるプログラム作り. 私家版, B5 48p.+i
- 1982 〃 数理言語学 (現代数学レクチャーズ D-3). 培風館, A5 222p.+xi
- 1983 〃 朝倉日本語新講座 2 語彙. 朝倉書店, A5 222p.+xiii { この講座 全 6  
巻は水谷の編輯 }
- 〃 講演録 ソフトウェア文書のための日本語処理の研究 2—マニュアルの改善のた  
めに一. 情報処理振興事業協会, B5 49p.+i
- 1985 編纂 科学計算プログラムの基礎演習問題集 (第一次報告). 私立大学等情  
報処理教育連絡協議会, A4 167p.+iv
- 1986 単著 次第立て言語 小朱唇の手引. 東女日文, B5 75p.+v { 処理系作成者は黒  
川利明 (当時, 東芝) }
- 〃 〃 小朱唇言語仕様. 東女日文, B5 67p.+v
- 〃 編纂 戦後初期流行歌謡曲抄附: 戦中篇. 教育用私家版, B5 36p.
- 1987 共著 日本語での形式と意味との対応 (その一). 私家版, B5 70p.+i { 仁科喜  
久子と. 文部省科学研究費補助金特定研究による. 二, 三も同様 }
- 1988 〃 日本語での形式と意味との対応 (その二). 私家版, B5 86p.+i
- 〃 単著 国語研究法の手引. 東女日文, B5 38p.+i { 選択必修科目の教本 }
- 1989 共著 日本語での形式と意味との対応 (その三). 私家版, B5 97p.+iv
- 〃 単著 国語風次第立て言語 朱唇の手引. 東女日文, B5 104p.+iv { 処理系の移植  
・拡張作業は日立製作所 (坪田幾孝) }
- 〃 編著 Japanese Quantitative Linguistics (Quantative Linguistics, Vol.39, Bochum).  
Studienverlag Dr. N.Brockmeyer, B6 に近い判型 294p.+xviii { 中に  
Mizutani Sizuo: Ohno's lexical law: its data adjustment by linear  
regression, pp.1-13 在り }
- 〃 単著 複合が担ふ意味の型のコード系. NTT 委託研究報告書別冊, A4 30p. {  
朝倉日本語新講座 1 の附録 3 を経た上の改良版 }
- 1990 〃 クラス論理による国語学精密化. 東女日文, B5 68p.+i { 教本 }

- 1991      ♪      稿本国文法大体. 東女日文, B5 153p.+vii  
          ♪      分るって何. mog の会, B5 51p.+ii('79 & '85 講義録の再編)  
          ♪      編纂 朱唇に立つ国語情報処理 理論の検証を目指して. 東女日文, B5 133p.  
 1994 単著 国語学随筆一寸した事. 私家版, B5 100p. { 論文相当のもの幾つかを含む }  
 1995      ♪      意味記述体系. 秋山書店, B5 238p.+iv  
          ♪      待遇表現論提要. 財団法人計量計画研究所, B5 77p.+iii  
 1996      ♪      朱唇言語仕様. FD 私家版 { 未公刊, Canoword 使用ゆゑ今は読めまい }  
 2009      ♪      連糸新論. 私家版 A4 61p.+iii {Free monoid 抜きの公理系に拠る新構成}  
 2011      ♪      曲り角の日本語 (岩波新書(新赤版)1304). 岩波書店, 203p.+viii  
 2012      ♪      随筆辞書を育てて. 岩波書店, 201p.+xii

#### 附

- 1991 被翻訳 Description systématique de la grammaire japonaise.(Travaux de linguistique japonaise, Vol. 9. Université de Paris 7, U.F.R. Langues et Civilisations de l'Asie Orientale, par Reiko Shimamori et André Włodarczyk. B6 に近い版型 198p. { 「国文法素描」(1983) の翻訳・解説 } )

#### 論文・技術報告

- 1949 古事記は漢字だけで書いてある. 国語と国文学 26[8] 40-45  
 1951 形容動詞辨. 国語と国文学 28[5]31-47, 正誤 28[6]64  
 1952 現代漢字かなまじり文の源流—「西国立志篇」と「新政大意」の表記法—. 言語生活 [6] 34-39 { 大野 (水野) 弥穗子と }  
          ♪      形容動詞と謂ふもの. 国文学解釈と観賞 17[12] 37-42  
 1953 金田一春彦氏「不変化助動詞の本質」に質す. 国語国文 22[5] 49-54  
          ♪      語彙調査大体. 国語学 [15] 58-69, 補訂 [16] 46  
 1954 語彙調査に生ずる狂いの種類・原因・対策—特に使用率推定値に及ぼす誤差について—. 国研年報 (昭和 28 年度) 22-35  
 1956 敬語の本質と原理. 国文学解釈と観賞 21[5] 1-5  
          ♪      語彙の総量の推定. 国研年報 (昭和 29 年度) 52-59  
 1957 合致の度合の或検定法. 計国 [1] 32-39  
          ♪      数量化の立場—排列法テストの採点を例として—. 計国 [1] 41-48  
          ♪      延べ語数と異なり語数との関係. 計国 [3] 1-15, 訂正 [12] 4-6  
          ♪      日本語の品詞分類. 講座現代国語学 II ことばの体系 (筑摩書房), 127-155  
 1958 語彙の量的研究の為に. 計国 [4] 24-32 & [5] 26-28  
          ♪      学説の検討 語の使用順位・使用率・長さの関係の二三の理論について(一)(二). 計国 [6] 13-27 & [7] 32-40

- 〃 同音異義語. 言語生活 [81] 28-35 & 69, 訂正 [82] 14
- 1959 語の受け継ぎの仕組みに関する一研究法. ことばの研究 (国研論集 1) 141-154
- 〃 国語審議会「送りがなのつけ方」の分析. 国語学 [36] 98-112
- 〃 延べ語数測定の誤差. 計国 [8] 1-13 & 40-41
- 〃 二三の注釈の問題. 国語研究 (白楊社) [32] 20-25 { 竹取物語・伊勢物語・堤物語での解釈四例 }
- 〃 検査は資料の正確さを増すか. 計国 [9] 25-31
- 〃 国語研究法としての数学的方法の意義. 計国 [10] 51-64
- 1960 二つの語彙に対する標本延べ語数と共通異なり語数との関係. 計国 [12] 6-13 & 33
- 〃 計量語彙論の基礎づけ. 国語学 [40] 1-17
- 1961 総個数不明の集団から等確率に近く調査単位を抜く法. 計国 [16] 37-42
- 〃 語釈一本格的辞書の論の前座一. 国語学 [47] 11-23
- 1962 言語研究への行列の応用. 計国 [19/20] 1-19
- 〃 英語動詞群の和訳語(一)(二)―自動翻訳のデータとして―. 計国 [21] 41-50 & [23] 12-23
- 〃 Outline of a theory of verbal communication process. 計国 [21] 1-12
- 〃 言語研究における言語学の問題. 科学基礎論研究 5[4] 150-156
- 〃 言語通信過程論と決定理論. 計国 [22] 17-24
- 〃 言語受容主体の方略. 国語国文 31[11] 左 1-16
- 1963 On a fundamental assumption in linguistics. Annals of the Japan Association for Philosophy of Science 2[3] 174-182
- 〃 表現内容が二種の時の言語行為の方略. 計国 [24] 1-19
- 〃 語の基本度の決定法試案. 国語学 [53] 65-85
- 〃 語彙量を不等式で挟む試み. 計国 [26] 6-12
- 〃 国語の活用型―電子計算機文法を目指して―. 国語国文 32[10] 1-25
- 〃 統計的自動抄録法の問題点. 計国 [27] 1-13
- 1964 Inflection patterns of verbs and adjectives in present-day Japanese. 日米科学協力委員会第一回MTセミナー preprints 52-58
- 〃 或教室で・1 同形異義語の数理―能率的な符号化法をめぐる―. 計国 [30] 16-30
- 〃 電子計算機と古典の総索引作り. 国語と国文学 41 [10] 157-176
- 〃 或教室で・2 同形異義語の数理―文法的拘束の利用―. 計国 [31] 15-24
- 1965 構文解析試論. 東女日本文学 [24] 左 1-17
- 〃 口語文法の単位. 口語文法講座 1 口語文法の展望 (明治書院) 89-111
- 〃 和文の語順と逆ポーランド記法. 国語学 [61] 左 1-15, 正誤 [62] 84
- 〃 語彙論の術語をめぐる. 国語学 [62] 71-84
- 〃 漢字音の組合せによる同音語. 言語生活 [169] 46-51
- 〃 大野の語彙法則について. 計国 [35] 1-13
- 1965/6 或教室で・3, 4 順序系統が立つものの語釈. 計国 [34] 7-17 & [36] 27-34
- 1966 露等による序歌の一考察. 計国 [36] 16-27 { 川島淳子と }
- 〃 An interpretation of the rewriting rule. 計国 [37] 14-30

- 1967 調査報告 基本語彙の為の統計の一側面. 計国 [39] 47-49  
 ♪ 文法雑筆. 東女日本文学 [29] 72-82
- 1968 時枝式入子に関する問題. 講座日本語の文法 I 文法論の展開 (明治書院) 266-284  
 ♪ 辞. 国語学 [72] 84-91 { 時枝誠記先生追悼論文 }  
 ♪ 文脈無用文法の簡素化に関する覚書. 計国 [43/44] 25-39, 追補 [45] 49  
 ♪ キーワードによる文献検索の論理. 計国 [46] 14-31  
 ♪ A methodological essay on semantic description of words. 東女創立五十周年記念  
 論文集 日本文学編 左 1-49 {Mathematical Linguistics and automatic Trans-  
 lation, Harvard Comp. Lab. NSF-20 VIII1-64 の採録 }  
 ♪ 「…<未然形>バコソ…メ」の論理分析. 上代文学論叢 (五味智英先生還暦記念)  
 (櫻楓社) 531-549
- 1969 字母統計の算術による欧州諸語の弁別. 計国 [48] 46-54  
 ♪ 二語の関連係数, 通覧. 計国 [49] 1-19  
 ♪ 国語における活用概念. 計国 [50] 3-24  
 ♪ 表現「甲・乙以外の丙」の能率. 計国 [51] 11-17
- 1969/70 文法・語義をめぐる一つの問題集. 東女日本文学 [33] 66-75 & [34/35] 66-80
- 1970 テューリング機械の SNOBOL によるシミュレーション例. 計国 [55] 13-22
- 1971 リスト処理による活用アクセプタ. 計国 [56] 6-29  
 ♪ 解釈における証明—伊勢物語第四段冒頭を例として—. 東女日本文学 [36] 88-98  
 ♪ 資料 同字異訓熟語集. 計国 [58] 21-40 { 松原順子・坪井美智子と }, 拾遺 [60] 44
- 1971/2 意味記述体系 (1) (2) (3). 計国 [59] 1-24, [60] 13-28 & [61] 1-21 {(2), (3) は田中幸  
 子と }
- 1972 調査報告 語の並列結合子. 計国 [63] 19-36 { 田中幸子と }
- 1973 非末端語は変項か. 計国 [64] 28-33  
 ♪ 事柄検索としての法令検索. 計国 [66] 1-24 { 斉藤孝・花岡百合子と }  
 ♪ 機械処理のための日本語文法. 電気学会雑誌 93[11] 995-999  
 ♪ 何が言語処理の原始的操作か. 計国 [67] 1-8
- 1974 自分は自分の兄弟か—意味論の一つの問題—. 計国 [68] 10-20  
 ♪ 国語での否定表現の意味. 計国 [68] 20-36  
 ♪ On the relation between the number of running words and different words in  
 random-sampling. ITL (Louvain 大学応用言語学研究所) [19] 1-14  
 ♪ <連糸>概念の基礎. 計国 [69] 1-21, 補訂 [73] 15-18  
 ♪ 連糸操作プログラミングの一法. 計国 [70] 17-29
- 1975 短い作品の語彙の量的構造—昭和初期流行歌の調査から 1—. 計国 [72] 1-12  
 ♪ 引用水準の変項がある量化理論と空連糸. 計国 [74] 1-15
- 1976 共出現関係に拠る語彙分類の試み. 計国 [77] 1-13  
 ♪ 語の共出現に拠る語彙構造探求の諸法. 計国 [79] 1-18
- 1977 或教室で 活用と仮名遣. 計国 [80] 30-42  
 ♪ 調査報告 計量語彙論から見た明星派と根岸派. 計国 11[1] 30-37  
 ♪ 語彙の量的構造. 岩波講座日本語 9 語彙と意味 43-86

- 〃 趨向性検定の為の数値表. 計国 11[2] 80-84
- 〃 構文論と意味論との関係. 松村明教授還暦記念 国語学と国語史 (明治書院) 55-70
- 1978 昭和初期流行歌での語の度数分布—昭和初期流行歌の調査から 2—. 計国 11[5] 191-198
- 〃 文法と意味との関係. 情報処理学会日本語情報処理シンポジウム報告集 285-300
- 〃 昭和前期流行歌と相の語. 国語学 [115] 左 1-10 { 岩淵悦太郎先生追悼論文 }
- 〃 続 形容動詞辨. 計国 11[7] 283-301
- 1979 梅か桜か分かねども 古今集梅・桜の歌の、数量化第 III 類による分析. 東女日本文学 [51] 17-32
- 〃 用語による梅・桜の歌の弁別. 計国 12[1] 1-13
- 〃 俳句を作る計算機. 東女日本文学 [52] 85-97
- 1980 用語類似度による歌謡曲仕訳—『湯の町エレジー』『上海帰りのリル』及びその周辺—. 計国 12[4] 145-161
- 〃 国語表現と様相. 科学基礎論研究 14[4] 165-169
- 〃 国語学教育での計算機利用. 佐藤茂教授退官記念論集国語学 (桜楓社) 9-29
- 1981 分類表項目数量化の荻野法に寄せて. 国語学 [124] 左 19-27
- 〃 語の使用率分布函数の算定. 計国 12[8] 339-356 { 含 Basic program }
- 〃 プログラム欄 フィッシャの直接確率計算法による検定. 計国 13[1] 33-38
- 〃 プログラム欄 構成比の線型回帰調整 併せて, 再び大野の語彙法則. 計国 13[2] 92-97
- 〃 プログラム欄 推移的閉包に立つ仕訳と語彙論への適用. 計国 13[3] 134-138
- 1982 同一素材歌謡曲の用語類似度. 計国 13[4] 149-164 { 松盛千佳と }
- 〃 調査報告 現代語動詞の所謂自他の派生対立. 計国 13[5] 212-222
- 1983 国文法素描. 朝倉日本語新講座 3 文法と意味 I 1-80
- 〃 待遇表現の仕組. 朝倉日本語新講座 5 運用 I 158-178
- 〃 国語研究と計算機. 理想 [607] 117-131
- 1984 戦時下流行歌の用語. 計国 14[5] 185-206
- 〃 国語表現での否定・量化に関はる考察, 文意記述の為に. 計国 14[6] 253-264
- 〃 プログラム欄 かむりづけ雑俳. 計国 14[7] 310-314
- 1985 再び 俳句を作る計算機. 東女日本文学 [63] 106-103 { 逆ノンブル }
- 〃 プログラム欄 引用部を拾ふ. 計国 15[2] 71-73
- 1986 プログラム欄 構文の木を描く. 計国 15[4] 140-144
- 〃 柳句の見立て表現. 松村明教授古稀記念国語研究論集 (明治書院) 430-448
- 1987 序説. 朝倉日本語新講座 1 文字・表記と語構成 1-19 { なほ同巻附録 3 には単著 1989 で改良 }
- 1988 調査報告 漢字表記複合語が担ふ意味の型の分布. 計国 16[5] 205-211
- 〃 国文法の N B G 表示. 計国 16[6] 246-257
- 〃 喚態文の文法. 計国 16[7] 281-312 { 含 資料集 }
- 1989 喚態文釈義法. 計国 16[8] 339-352
- 〃 調査報告 高次結合まで考慮した語構成情況. 計国 17[2] 64-70



- 〃 主語が顕在する命令句. 計国 17[3] 91-111 { 含 資料集 }
- 1990 ノート 距離に基づく語形類似指数. 計国 17[5] 241-244
- 1991 調査報告 筒井康隆『残像に口紅を』の音分布. 計国 17[8] 393-402; 同 補遺. 計国 18[2] 80-83 { 共に, 泉麻子と. 1995 に当の小説が中公文庫に収まるに際し, 筒井氏の希望でこの調査報告を附載 ; 同書 309-337 }
- 〃 古川柳読解システム試論. 計国 18[3] 99-119
- 1992 私の数理国語学. 数理科学 30[4] 38-42
- 〃 ノート 新聞記事中の日附表現. 計国 18[5] 240-244
- 〃 柳句読解のデータベース. 文化言語学—その提言と建設— (三省堂) 1166-1153 { 逆ノンブル }
- 1993 意味・文法の関係を考へる九十例. 計国 19[1] 1-14
- 〃 体言とその周辺. 国語研究 (松村明先生喜寿記念) (明治書院) 933-919 { 逆ノンブル }
- 1994 『草枕』冒頭部の行文. 計国 19[4] 175-185
- 〃 調査報告 名詞から副詞まで, 語類の新しい枠づけ. 計国 19[7] 331-340 { 星野和子と }
- 〃 語彙論の基礎. 私家版『一寸した事』 32-42 { この随筆集には論文相当の記事が他にもある }
- 1995 包括的規準による名詞・副詞類の仕訳. IPAL シンポジウム '95 論文集 45-53
- 〃 並置表現の文法意味論. 学振 152 委第 40 回研究会資料 40-1 9p.
- 〃 「まるで」攷. 計国 20[3] 99-111
- 1996 現代語の格 試論. 計国 20[7] 283-303
- 1997 広義結合価を数学書に見る. 計国 20[8] 335-356
- 1998 文法意味論ベンチマーク. 東大国語研究室創設百周年『国語研究論集』(汲古書院) 左 145-160
- 1999 戦後小説での格結合型. 計国 21[8] 345-360
- 2000 ノート 条件部の有る反語 意味・論理→文法論. 計国 22[6] 252-256
- 2001 束論から見た語類立て. 計国 23[3] 135-156

#### 解説・学問随筆

- 1955 わくを飛び出た術語. 言語生活 [45] 39-44
- 1958 基本語彙と語彙調査. 国語教育のための国語講座 4 (朝倉書店) 304-244 { 逆ノンブル }
- 1959 流行歌「泣く・花・恋」から「…ている・泣く・雨」へ. 言語生活 [91] 26-37
- 1963 智恵借りたし 二次元の順序の一次元化の問題. 計国 [24] 40-41
- 〃 言葉にひそむ数理. 情報管理 6[1] 10-16
- 〃 抄録を作る機械. 言語生活 [137] 36-44
- 1964 「話を終わる」と「話を終える」. 口語文法講座 3 ゆれている文法 (明治書院) 45-46
- 1965 I R と国語学. 情報管理 8[6] 10-16



- 1967 連糸操作のプログラム用言語 SNOBOL 3. 計国 [40] 31-49
- 1968 情報処理と日本語. 情報管理 11[9] 493-499
- 1970 数学は言語だという話 / 言語理論と数学. 数セ 9[5] 10-14  
 ♪ 『国文法用誤解説』内容見本. 言語生活 [229] 84-87
- 1971 品詞分類の数理. 数セ 10[2] 29-32  
 ♪ 日本語の論理. 講座正しい日本語 1 総論編 (明治書院) 100-121  
 ♪ 言語の数理. 数学講座 17 数理科学の諸問題 (筑摩書房) 101-126
- 1972 日本語と論理表現. 数理科学 10[2] 15-19  
 ♪ 入試に奇をてらう?—高校長協会『所見集』に答えて—. 数セ 11[3] 33-35 { 識者から良問と評せられ, 高校長連からは非難された、東女大入試問題に出題者として反論 }
- ♪ 一国語学徒の見た数学での日本語. 数セ 11[12] 15-17
- 1974 日本語を考える. bit 連載 ①自然言語の形式理論 6[1] 14-20, 正誤 [3] 236; ②文法・意味・イメージ [2] 119-124; ③文である要件 [3] 237-242; ④ボス陳述? 悪女 PSG? [4] 299-304; ⑤江戸の学説を見直そう [5] 345-354; ⑥再び文法と意味 [6] 424-430; ⑦「結婚する」「結婚した。」「結婚」 [7] 538-544; ⑧意味記述の為に [8] 611-616; ⑨トンデモナイ事はトンダ事 [10] 989-995  
 ♪ SNOBOL. bit 臨時増刊: プログラミング言語 180-191  
 ♪ 言語はなぜ通じそして通じないか. 図書 (岩波書店) '74 11 月号 2-18 & 12 月号 47-63
- 1977 大学を出てから始めた数学. 別冊数理科学: 現代数学 75-77  
 ♪ 連糸操作プログラミングの誘ひ. 東女論集 28[2] 101-116
- 1978 和語と漢語の造語力. 文部省「ことば」シリーズ 8 和語漢語 73-83  
 ♪ 数量化理論とその応用. 情報管理 21[9] 692-706
- 1979 文学系でのプログラム言語. bit 11[3] 246-249
- 1980 国語学を創る—1980 年度始業講演—文理学部—. 東女論集 31[1] 239-250  
 ♪ 流行歌の用語を数量的に見る. 科学朝日 '80 11 月号 72-76
- 1982 私の意味論 これだけは言っておきたい. 日本語学 1[1] 14-18  
 ♪ 数学記号の言語学. 数セ 21[2] 8-11  
 ♪ 五年足らずで. 計国 13[4] 192 { 埋め草的読物: 漢字情報処理の或予想とその五年後の現状 }
- 1985 国語屋から見た総論. bit 別冊 ワープロと日本語処理 19-30  
 ♪ 国語学の中の数学. 数セ 24[10] 14-15
- 1986/7 国語辞書の釈義法. A I ジャーナル [7] 76-79 & [8] 80-83
- 1987 理論言語学の名で. 日本語学 6[5] 12-13  
 ♪ 数理国語学の一学徒として一跋に代へー. 計量国語学と日本語情報処理—理論と応用— (秋山書店) 435-439 { 水谷の還暦記念論文集 なほ同書にはこの時までの履歴も附載. }
- ♪ まともな支援ツールを. 言語生活 [422] 56-57
- 1988 青い無限が白くなる. 数セ 27[8] 23 { 特集: 無限のイメージ }

- 〃 芙蓉出水. 数セ・リーディングス: 数学との出会い. 100
- 1989 国語研究の道具—電子計算機—. 大学時報(私大連) [207] 96-103
- 1990 文系学部と単位制度. 大学基準協会会報 [64] 63-69
- 〃 ノート 日本語処理に懸る不連続線. 計国 17[6] 309-310
- 1991 退職記念講演 国語学の一隅から見て. 東女日本文学 [76] 105-114
- 〃 言語研究におけるデータの意義. 日本語学 10[8] 4-12
- 1992 日本語で計算機を動かす. 応用言語学講座 5 コンピュータと言語 (明治書院) 62-81 { 執筆は 84 年; 刊行遅れゆゑ 91 年の追記附 }
- 1993 切る, 斬る, 截る, …… 数セ 32[6] 27
- 〃 国語学に見る計量と数理. 数セ 32[10] 30-34
- 〃 随筆 帰納的推論事始め. 計国 19[3] 159-160
- 〃 韻文研究における計算機. 国文資第 4 回『国文学とコンピュータ』シンポジウム講演集 47-61
- 1994 壊す勇氣. bit 26[2] 3 {opinion 欄}
- 1995 プログラミング教育と言語研究. 人文学と情報処理 [6] 13-17
- 〃 数理的研究. 国語学会『国語学の五十年』(武蔵野書院) 387-398 { 執筆 93 年秋 }
- 1996 こゝに注意を —文語歌の用語法— 一—六. 街路樹 [496] 10-12, [499] 10-13, [501] 10-13, [502] 10-14, [503] 10-13. [504] 101-13 { 筆名「倭文夫」による }
- 〃 烏が k a r と鳴く話. 数セ 35[10] 6-7 { 西村恕彦の連載記事を病気で休むのを避ける代理執筆 }
- 1997 文章のデバッグ. bit 28[1] 38-39
- 1998 ノート 等確率非復元抽出法の基礎. 計国 21[7] 324-326
- 2012 理想の辞書を求めて. ユリイカ 44[3] 64-69 { 談 }

#### 私家版随筆集及び歌画集

- 1994 国語学随筆 一寸した事. B5 100p.
- 1997 有明け月. B6 181p.
- 2002 道芝. B6 281p.
- 1994 倭文夫集. B6 133p.
- 2003 後の倭文夫集. B6 85p.
- 三徑雑筆 当面ハ電子版 { 次項参照 }
- 手許に 他にも, 未公刊の随筆相当数や文法(意味)論覚書 12 篇がある.『辞書を育てて』以後の随筆にも直接間接に国語(学)に関するのが多く、例へば <小學國語讀本からの思ひ出> <自己と記憶> <文字列と連糸> <時枝先生の水谷評> <「存在してゐる」> <人文学> <エリート校 私見> <辞書編纂者と用例> <死後の世界に対する論理的結末> <言語過程説継承者としての、原版との相違点>. かういふ話題に限らずこれからも書き継ぐだらう.
- また 1999 年 5 月~2000 年 9 月の間に書いた後者の題目は,
- 0 文法論構築の我が根本態度
- 0-1 『稿本国文法大体』改修の為に

- 0-2 覚え { 構文演算子の図式 }
- 0-3 材料規則のカタログ化
- 1 文法規則を立てる態度 { 所謂 cleft 文の考へが国文法に馴染まない事を例として }
- 2 述素の形成 特に連用修飾語との関わりで
- 3 「～を…に」とその周り
- 4 所謂副詞の語類を定める為に
- 5 名詞兼副詞 「が」での容態化はあり得るか
- 6 末に係助詞を伴ふ副連語
- 7 「に」対「で」 連用修飾の標の問題
- 8 格の目録
- 9 構文と意味 小手だめしの二十五題
- 10 句論原理 { 述素核から枝を出す仕立て, など }
- 11 ほんとに《副》《助詞》?

—終—